

「JATA経営フォーラム2019」の見どころ

分科会A

「優秀な女性人材を逃すな！
女性 が 長 期 的 に 能 力 発 揮 す る た め に」

多様な視点から「女性活躍」のあり方を探る

JATAは2月21日、東京・六本木の六本木アカデミーヒルズ49で「旅行業革新への挑戦（トライ）」を総合テーマに掲げ、27回目を迎える「JATA経営フォーラム2019」を開催します。「優秀な女性人材を逃すな！女性 が 長 期 的 に 能 力 発 揮 す る た め に」をテーマとする分科会Aでは、「女性の活躍」に議題を絞り、同業・異業種における施策、取組事例の紹介を通じて、旅行業界が取り組むべき女性活躍のあり方を議論します。



分科会Aのモデレーターを務める日本旅行の吉金嘉洋取締役兼常務執行役員

少子高齢化・人口減少により就労人口の減少も進む中で、女性社員の活躍なしでは企業経営が成り立たない時代です。ライフステージの変化の時期と職場での活躍の時期が重なり、優秀な女性が退職してしまうケースも少なくありません。

日本旅行の吉金嘉洋取締役兼常務執行

役員がモデレーターを務める分科会Aでは、エイチ・アイ・エス本社人事本部人事企画グループ人事企画チームの鬼島絵里チームリーダー、JTBの高崎邦子執行役員、資生堂社会価値創造本部の本多由紀ダイバーシティ&インクルージョン・デパートメント・ディレクターの3氏がパネリストとして登壇し、女性の活躍を支援するようなロールモデルやキャリアパス、様々な制度や支援を通じた多様な働き方などを取り上げ、そこから見えてくる問題や社員の意識の変化などについて議論を深めます。

副業の容認・時短社員へのフレックス

制度勤務拡大・在宅勤務トライアルの開始・再雇用制度の導入という「多様性を生み出す4つの働き方」を導入したエイチ・アイ・エス、『日経WOMAN』の2018年版「女性が活躍する会社BEST100」で女性管理職比率1位となったJTB、いわゆる「資生堂ショック」として知られる時短勤務中の子育て社員にも遅番や土日勤務などに取り組んでもらう制度改革を行った資生堂。3社における事例の報告などを踏まえて、様々な課題にスポットを当てていきます。

「JATA経営フォーラム2019」の主なプログラム

- ◎基調講演:「人口知能がもたらす人と社会の未来」新井紀子氏(国立情報学研究所社会共有知研究センターセンター長・教授/一般社団法人教育のための科学研究所 所長・代表理事)



基調講演で登壇する新井紀子氏

◎分科会

○分科会A ※記事本文参照

○分科会B「テクノロジーが変える経営とツーリズムマーケット」:モデレーター=三島健氏(JTB Web販売部戦略統括部長)/パネリスト=伊藤かつら氏(日本マイクロソフト執行役員常務 デジタルトランスフォーメーション事業本部長)、菊池新氏(ナビタイムジャパン取締役副社長兼CTO)、鶴本浩司氏(トラベルボイス代表取締役社長)

○分科会C「中堅旅行会社トップ座談会『これからの旅行業経営』」:モデレーター=東良和氏(沖縄ツーリスト代表取締役会長)/パネリスト=石川邦大氏(T-LIFEホールディングス代表取締役社長)、近藤康生氏(WBFホールディングス代表取締役)、今野淳子氏(ミキ・ツーリスト取締役執行役員)

○分科会D「カスタマージャーニー(タビマエ・ナカ・アト)から考える新たな価値づくり」:モデレーター=山下真輝氏(JTB総合研究所コンサルティング事業部コンサルティング第五部長 主席研究員)/パネリスト=大西希氏(鶴雅リゾート常務取締役)、沢登次彦氏(リクルートライフスタイル じゃらんリサーチセンターセンター長)、牧野友衛氏(トリップアドバイザー代表取締役)

- ◎特別講演:「映画と観光」木村大作氏(映画監督・撮影技師)/田中まこ氏(特定非営利活動法人ジャパン・フィルムコミッション理事長)